



島根県消防学校だより VOL.21

Shimane Fire Defence Academy 2018.12



消防学校では地域の総合防災力向上のため、年間を通じて消防職員・消防団員等に対する様々な教育訓練を行っています。



平成30年度 初任総合教育第58期「卒業式」

11月19日(月)初任総合教育第58期生36名の卒業式を島根県防災部次長藤井様、防災部消防総務課長青山様、島根県消防長協会会長(松江市消防長)菅井様を始め、各消防本部消防長様他、多数の御来賓の御臨席を賜り盛大に挙行致しました。

前日から降り続いた雨も朝方にはあがり、9時から屋外で卒業展示の訓練礼式、救急演習、救助演習、消防演習が披露されました。

続いて11時30分から屋内訓練場にて卒業証書授与式が挙行され、御来賓、多くのご家族や関係者の皆様にご祝福を受ける中、福島校長から一人一人に卒業証書を手渡され、消防人としての第一歩を踏み出しました。

学生はこの8ヶ月間一人も欠けることなく、本校での厳しい訓練を耐え抜きました。

彼ら若者達に、教職員一同、今後益々の活躍を期待するものです。



訓練礼式

浜田消防、伊藤学生総代指揮の下、「通常点検」から開始され、浜田消防、石崎学生の「小隊の停止間の動作」、大田消防、山本学生の分列行進が行われました。



救急演習



松江消防、山崎学生指揮の下、「大型バスと普通乗用車の正面衝突事故により多数の傷病者がいる」との想定で、救急隊4隊、消防隊2隊、救助隊1隊で行われました。

救助演習

大田消防、河野学生指揮の下、登はんは「ロープ応用登はん」「はしご登はん」、渡過は「セーラー」「モンキー」「チロリアン」「セーラーフォールセーラー」「セーラータンモンキー」、降下は主塔から「オーバーハング」副塔から「リペリング」を学生全員で披露しました。



消防演習

益田消防、又賀学生による総指揮の下、地震による「高層建物火災」の想定により防火衣、呼吸器装着の後、指揮隊1隊、消防隊4隊、救助隊2隊、救急隊2隊が出動し、消防活動の訓練の成果を披露しました。



卒業証書授与

式典では福島校長から「熱き心で向上心を持ち、地域住民のために活躍していただきたい。」との式辞がありました。

来賓の方からは、島根県知事（代理 藤井防災部次長）と島根県消防長会会長（菅井松江市消防長）からそれぞれ御祝辞をいただきました。

最後に卒業生を代表し、総代の伊藤学生（浜田消防）が「消防という門をくぐり、消防職員として必要な規律、知識、技術を身につけるため日々訓練を通して成長できました。入校期間中は成功することより失敗することの方が多かったのですが、ここまで指導して下さった教官方の熱い指導に深く感謝申し上げます。」と謝辞を述べました。

優秀賞は、石飛成馬（雲南消防）、友田由香（安来消防）、小林丈二（出雲消防）、伊藤成人（浜田消防）4名の学生が受賞しました。



石飛教官より（初任総合教育 担当教官）

ここで学んだことは基礎でしかありません。今後、さらに経験、訓練をかさねて成長してくれることを願っています。いつまでも応援しています。

幹部教育 初級幹部科 30 期

10月15日（月）～26日（金）開催

消防職員幹部教育「初級幹部科第30期」17名の学生は、総代 川角貴広学生（雲南消防）を中心に、初級幹部としての職責を自覚し、部下の育成、組織的な消防活動等の習得に取り組みました。

訓練では指揮能力の向上を図るとともに、初任総合教育学生への育成指導、各所属の先輩として教育スキルの習得と、職員間の交流を図りました。



専科教育 警防科 27 期

11月26日（月）～12月12日（水）開催

警防科では鳥取県消防学校の施設を借用し、初めてホットトレーニング訓練を実施しました。

ホットトレーニングでは、熱環境下における火災性状・活動を体験し、フラッシュオーバーに至る経過及び兆候を把握すると共に、フラッシュオーバーから回避するための時間確保術（注水技術）を学びました。



島根県消防学校 施設修繕・設備更新等のお知らせ

- ・主塔外壁改修工事及び耐煙消火訓練場（ドーム）改修状況
 - ・呼吸器用圧縮空気製造機器（コンプレッサー）更新
 - ・視聴覚室、食堂、寮談話室等のLED照明交換完了
- 詳しい内容については、消防学校HPをご覧ください。

URL : <https://www.pref.shimane.lg.jp/shobogakko/>

島根県消防学校

〒690-0046

松江市乃木福富町 735-157

TEL 0852-22-0166

FAX 0852-31-6993

E-mail : syobogako@pref.shimane.lg.jp

